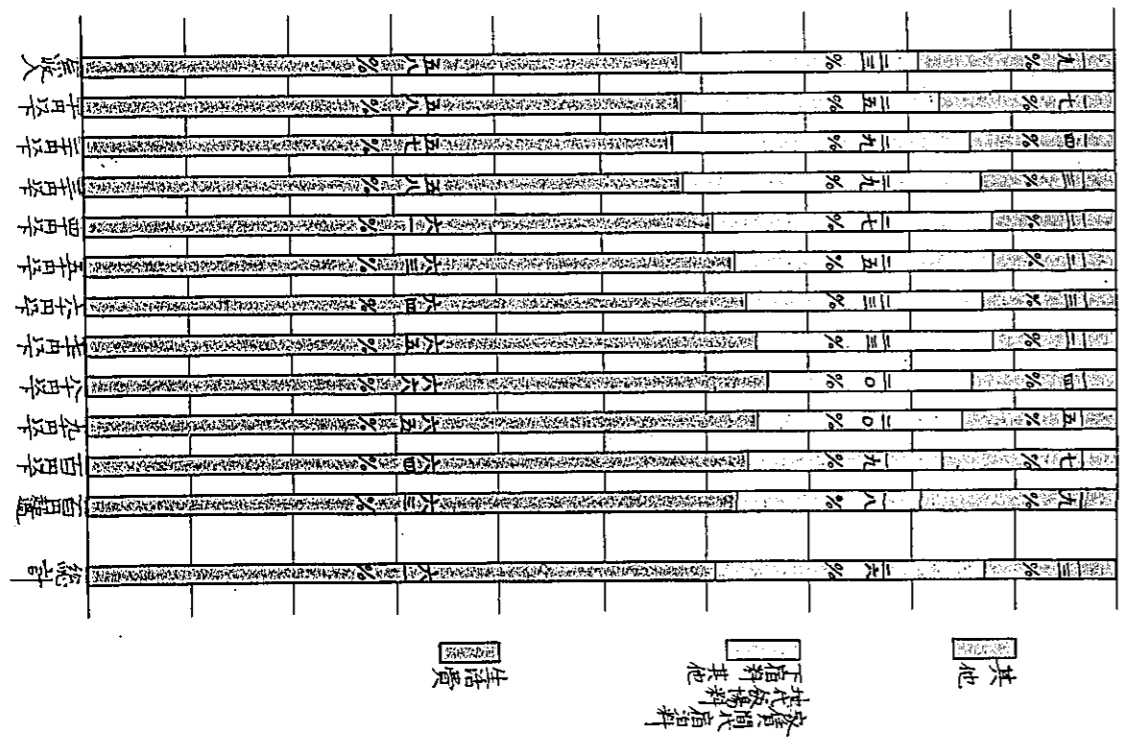
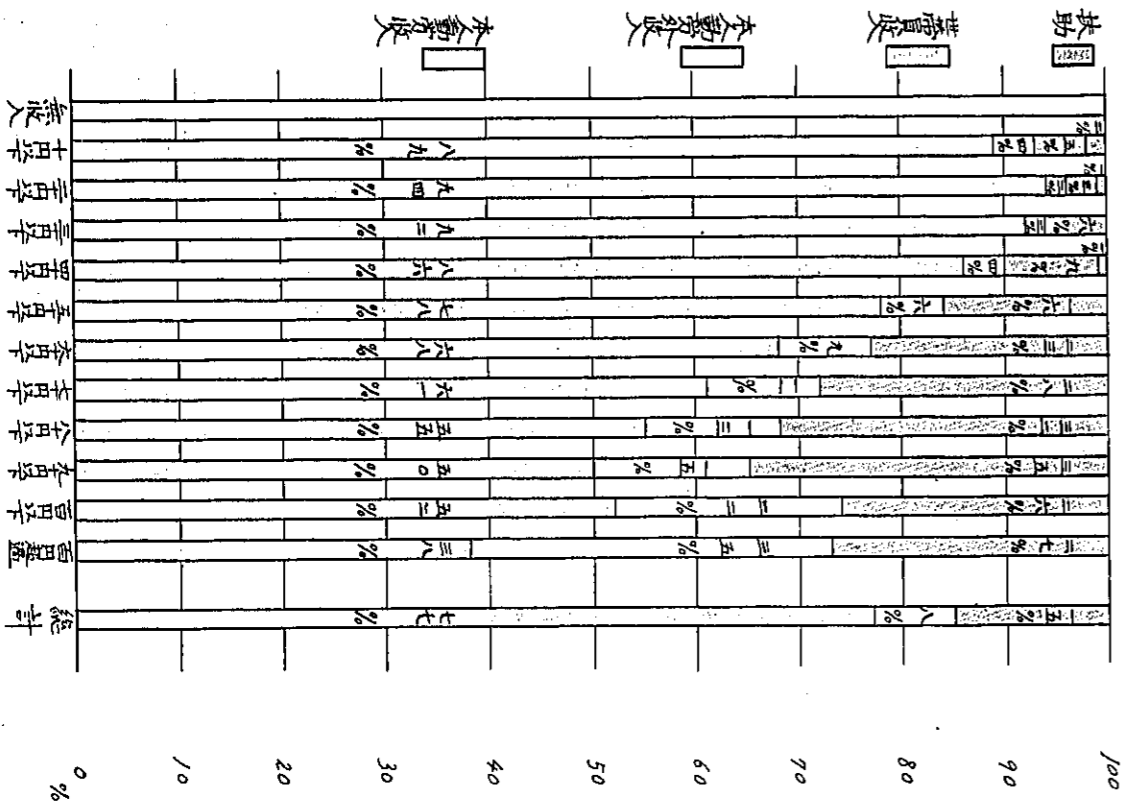


第十六圖のB
一世帯平均

世帯総収入金額別収入支出割合

収入

支出



No.

土木建築勞働者生活狀態調査票

調査年月日	昭和 年 月 日	調査別	調査員
-------	----------	-----	-----

1 本人ニ關スル事項		氏 名		1 年 齡		2 出生地		3 現 住 所		區 町	
4 住 居 種 類		親方寄寓, 假榻, 持家, 借家, 間借, 下宿, 木賃宿, 宿泊所, 其他		5 教育程度		未就學		市 町 村		道 府 縣	
6 扶 養 族 數		有() 無		7 現 職 業		失 業 ノ 場 合		8 最近一ヶ月平均 勞働日數		9 最近一ヶ月平均 勞働回數	
9 親 方 有 無		從屬現在() 不從屬		10 親 方 扶 助		其		11 於テル工事ノ 移働回數			

II 世帯員ニ關スル事項				13 性 別				14 本 業		15 副 業	
12 氏 名				男		女		13 年 齡		業	
19 氏 本 人								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	
								13 年 齡		業	

III 生計ニ關スル事項											
支 出				收 入				IV 備 考			
16 家賃間地代				20 本人勤勞收入				26 收支差額			
17 生活費				21 勤勞收入以外ノ 本人帯入ノ收入							
18 其他				22 以外ノ收入							
19 支出合計				23 親方ノ扶助							
				24 其他扶助							
				25 收入合計				27 補償方法			
								28 補償方法			
								29 補償方法			
								30 補償方法			
								31 補償方法			
								32 補償方法			
								33 補償方法			
								34 補償方法			
								35 補償方法			
								36 補償方法			
								37 補償方法			
								38 補償方法			
								39 補償方法			
								40 補償方法			
								41 補償方法			
								42 補償方法			
								43 補償方法			
								44 補償方法			
								45 補償方法			
								46 補償方法			
								47 補償方法			
								48 補償方法			
								49 補償方法			
								50 補償方法			
								51 補償方法			
								52 補償方法			
								53 補償方法			
								54 補償方法			
								55 補償方法			
								56 補償方法			
								57 補償方法			
								58 補償方法			
								59 補償方法			
								60 補償方法			
								61 補償方法			
								62 補償方法			
								63 補償方法			
								64 補償方法			
								65 補償方法			
								66 補償方法			
								67 補償方法			
								68 補償方法			
								69 補償方法			
								70 補償方法			
								71 補償方法			
								72 補償方法			
								73 補償方法			
								74 補償方法			
								75 補償方法			
								76 補償方法			
								77 補償方法			
								78 補償方法			
								79 補償方法			
								80 補償方法			
								81 補償方法			
								82 補償方法			
								83 補償方法			
								84 補償方法			
								85 補償方法			
								86 補償方法			
								87 補償方法			
								88 補償方法			
								89 補償方法			
								90 補償方法			
								91 補償方法			
								92 補償方法			
								93 補償方法			
								94 補償方法			
								95 補償方法			
								96 補償方法			
								97 補償方法			
								98 補償方法			
								99 補償方法			
								100 補償方法			

土木建築労働者生活状態調査

第一章 總 說

一、調査と目的

本調査ハ現行日傭労働者失業應急事業ノ対象タル労働者ト類似ノ労働者即チ汎ク土木建築業ニ雇傭セラルル労働者ニ付其ノ生活状態ノ一般ヲ調査シ、失業対策ノ参考ニ資スルヲ以テ目的トス。

二、調査対象

本調査ノ対象ハ東京、京都、神戸三市ニ於ケル土木建築業ニ雇傭セラルル労働者即チ平素土木建築請負業者又ハ其ノ下請人ノ配下ニ隸屬シ又ハ事業ノ都度雇傭セラルル左記職業ニ従事スル労働者（徒弟及日傭労働者失業救済關係諸事業ニ就勞スル労働手帳ノ交付ヲ受ケ居ル者ヲ除ク）ナリ

職業分類

大 工	大工、木舞職
左 官	左官職、土差、小壁カキ
石 工	石工（花崗屋、山屋）
土 工	堀方土工、一荷持土工、土羽付工、トロ押土工、土管巻土工、間堀土工、コンクリート土工、 蛸搦土工（女土工）、斧差

鴛 建築鴛、杭打鴛、トロ線直シ鴛
 鴛 手 傳 鴛 手 傳
 雜 役

右以外ノモノハ之ヲ對象ヨリ除外シタリ。

右ニヨリテ得タル結果ハ東京市二一、二五三人、京都市二、〇四七人、神戸市一、九六七人、總計二五、二六七人ヲ算セリ。

三、調査項目(詳細ハ前掲調査票參照)

調査項目ノ主タルモノハ左記四項ナリ

1. 本人ニ關スル事項
2. 世帯員ニ關スル事項
3. 生計ニ關スル事項
4. 備考

四、調査方法及集計

イ、本調査ハ小額給料生活者失業應急事業官廳委託事務トシテ前掲三市ニ委託シ之ヲ實施シタリ。

ロ、調査ハ左記方法ニヨリ三市同一時期ニ於テ同一形式ヲ以テ調査シタリ。

調査ヲ豫備調査ト本調査ニ分ツ

イ、豫備調査トシテハ大體昭和八年四月一日現在ヲ以テ土木建築關係ノ主ナル事業主並其ノ下請人ニ付平素其ノ配下ニ隸屬シ又ハ事業ノ都度其ノ雇傭スル勞働者ヲ調査シ其ノ名簿ヲ調製セリ。

ロ、本調査ハ右勞働者名簿ニヨリ調査員一名ニ付キ對象約一〇〇人ヲ担当シ前掲ノ調査票ヲ以テ戸別ニ聴取調査ヲ行ヒ、五月三十一日迄ニ完了セリ。

ハ、集計ハ左記項目ニヨリ各都市ニ於テ當該都市分ノ調査票ヲ整理集計シソノ報告ニ基キ全部ノ集計ヲナシタリ。

集 計 項 目

- 第一 表 本人、年齢別、教育程度別員數
- 第二 表 本人、出生地別員數
- 第三 表 本人現職業別、住居ノ種類別員數
- 第四 表 本人現職業別扶養家族有無別員數
- 第五 表 現職業別、最近一ヶ月ニ於ケル平均就勞日數
- 第六 表 現職業別親方有無從屬期間扶助種類別員數
- 第七 表 本人職業別最近一ケ年間ニ於ケル工事ノタメノ移動回数別員數
- 第八 表 本人並本人ヲ除ク世帯員副業別員數
- 第九 表 本人ヲ除ク世帯員本業別員數
- 第十 表 世帯總收入金額別收入過不足別世帯員數別世帯數
- 第十一 表 本人、勤勞收入金額別世帯員數別世帯數
- 第十二 表 世帯總支出金額別世帯員數別世帯數
- 第十三 表 生活費金額別世帯員數別世帯數
- 第十四 表 世帯總收入金額別收入、支出比例表
- 第十五 表 收入過不足額別世帯員數別世帯數

第十六表 不足額補填方法別件數
第十七表 剰余金額處分方法別件數

第二章 本人ニ關スル事項

一、年 齡

本人ノ年齡構成ヲ見ルニ三十一歳乃至四十歳ノモノ全体ノ三八%ヲ占ム、コレヲ五歳階級別ニテ詳述スレバ三十六歳乃至四十歳ノモノ最多ク四、六九二人一九%、コレニ次グハ三十一歳乃至三十五歳ノモノ四、六八九人一九%、二十六歳乃至三十歳ノモノ四、二二二人一六%ナリ。二十歳以下ノモノ及六十一歳以上ノモノ各々二〇%ヲ示セリ。

二、教育程度

教育程度ニ於テハ全体ノ八〇%ハ義務教育終了以上ノモノニシテ未就學者約七%尋常小學半途退學者約一三%ニ過ギズ。最モ多數ナルハ尋常小學卒業者一四、三六〇人五七%ニテ高等小學卒業者四、三一四人一七%コレニ次ギ中等學校卒業及半途退學者各一%ヲ占ム、(第一圖參照)コレヲ年齡別ニヨリテ其ノ割合ヲ示セバ次表ノ如シ。

年齡別教育程度別員數割合

教育程度別	年齡別	
	二十一歳以上	二十一歳以下
義務教育終了	一・五%	二・四%
尋常小學	四・八%	五・五%
中等學校	一・三%	一・二%
合計	六・三%	七・九%
義務教育終了	三・八%	四・〇%
尋常小學	一・〇%	一・二%
中等學校	一・〇%	一・一%
合計	一・四%	一・七%
義務教育終了	四・三%	四・三%
尋常小學	一・二%	一・二%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・七%	一・七%
義務教育終了	六・八%	六・八%
尋常小學	一・九%	一・九%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	八・七%	八・七%
尋常小學	一・九%	一・九%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・〇%	五・〇%
尋常小學	二・八%	二・八%
中等學校	一・三%	一・三%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	四・六%	四・六%
尋常小學	一・四%	一・四%
中等學校	一・二%	一・二%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・五%	五・五%
尋常小學	一・四%	一・四%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	一・七%	一・七%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	二・五%	二・五%
中等學校	一・六%	一・六%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	四・八%	四・八%
中等學校	三・一%	三・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	四・八%	四・八%
中等學校	三・一%	三・一%
合計	一・一%	一・一%



教育程度別	年齡別	
	二十一歳以上	二十一歳以下
義務教育終了	一・五%	二・四%
尋常小學	四・八%	五・五%
中等學校	一・三%	一・二%
合計	六・三%	七・九%
義務教育終了	三・八%	四・〇%
尋常小學	一・〇%	一・二%
中等學校	一・〇%	一・一%
合計	一・四%	一・七%
義務教育終了	四・三%	四・三%
尋常小學	一・二%	一・二%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・七%	一・七%
義務教育終了	六・八%	六・八%
尋常小學	一・九%	一・九%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	八・七%	八・七%
尋常小學	一・九%	一・九%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・〇%	五・〇%
尋常小學	二・八%	二・八%
中等學校	一・三%	一・三%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	四・六%	四・六%
尋常小學	一・四%	一・四%
中等學校	一・二%	一・二%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・五%	五・五%
尋常小學	一・四%	一・四%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	一・七%	一・七%
中等學校	一・一%	一・一%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	二・五%	二・五%
中等學校	一・六%	一・六%
合計	一・一%	一・一%
義務教育終了	五・八%	五・八%
尋常小學	四・八%	四・八%
中等學校	三・一%	三・一%
合計	一・一%	一・一%

即チ年齡ノ増加スルニ從ヒ未就學者及尋常小學半途退學者ノ割合増加シ義務教育終了者及ビ未終了者ニ區別シテ比較スレバ二十一歳未満ノ者ハ未終了者僅カニ六・三%ニ過ギザルガ年齡増加ト共ニ漸次其ノ割合ヲ増加シ五十六歳乃至六十歳ニ於テハ其ノ半數ニ達シ六十一歳以上ニ於テハ六一・一%即チ半數以上ニ昇ル、然レドモコレヲ合計ニ於テ見レバ未終了者ハ一九・七%ニ過ギズ、即チコレヲ概觀スレバ未就學者ハ年齡ノ増加ニ從ヒ急激ニ増加シ尋常小學半途退學者モ同様漸次増加ノ傾向ヲ示シ尋常小學卒業者以上ニ於テハ逆ニ年齡増加ニ從ヒ順次減少ノ傾向ヲ示ス、就中高等小學卒業者ハ特ニ其ノ減少傾向著シ。(第二圖參照)

三、出 生 地

調査地別ニ出生地ヲ見レバ東京市ニ於テハ東京府最多ク五、九四七人二八%ヲ占メ新潟縣一、七八三人七・一%埼玉縣一、二八七人コレニ次グ、コレヲ市町村別ニスレバ市部出身者多數ニテ六、一五九人二九%ヲ占メ其ノ中ニ於テハ東京市殆ンド全部ヲ占メ五、二四八人ニ昇ル。

京都市ニ於テハ京都府第一位一、〇一八八五〇%ニ相當シ滋賀縣三三五人一六%、福井縣九二人四%、石川縣八五人四%コレ

ニ次グ市町村別ニコレヲ見レバ村出身者多數一、〇八〇人五三%ニテ其ノ中第一位ハ滋賀縣ノ村部第二位ハ京都府ノ村部ナリ。市出身者ハ七七四人三八%ニテ京都市殆ンド全部ヲ占ム。

神戸市ニ於テハ兵庫縣最モ多ク八七二人四四%、朝鮮一五二人八%岡山縣、徳島縣同數ノ一一四人六%、香川縣一一二人六%ノ順序ナリ。市町村別ニ見レバ村出身者八九二人四五%ニテ多數ヲ占メ兵庫縣ノ村部第一位ナリ。市出身者ハ六一一人三一%中兵庫縣市部第一位ヲ示ス。

コレヲ三市合計ニ見レバ東京府第一、五、九四七人二四%、新潟縣第二位一、七八三人七%、埼玉縣第三位一、二八七人五%ノ順序ナリ朝鮮人ハ八四〇人三、三%ヲ算ス。

コレヲ要スルニ當該都市ノ所在府縣出身者最モ多キコトヲ示セリ。

四、居住關係

居住關係ニ於テハ借家住ヒノ者一四、六〇五人五八%ニテ最モ多ク自己所有家屋ニ居住スル者三、一一一人一二%、間借ノ者二、六五〇人一二%、下宿住ヒノ者二、一三八人八%ニテ飯場居住者ハ僅カニ八八九人四%及ビ親方寄寓者ハ七〇七人三%ニ過ギザル状態ナリ。(第三圖參照)

コレヲ職業別ニ見レバ大体ノ状態ハ同一ナルモ幾分ノ相違ヲ示セルハ土工及ビ雜役ニシテ土工ニ於テハ借家住ヒノ者ノ第一位ハ同様ナルモ第二位ハ間借第三位ハ下宿第四位飯場ニテ自己所有家屋ニ居住スル者ハ第五位ニ落ツ、而シ各職業中土工ノ飯場居住者ハ飯場居住者總數ノ六三%ヲ占ム。雜役ニ於テハ第一位ハ同様、第二位間借、第三位宿泊所、第四位ハ自家所有家屋居住者ナリ。

都市別ニコレヲ觀察スレバ借家居住者ハ各市ヲ通ジテ最モ多ク、第二位ハ東京市、京都市ニシテハ自家居住者一三%ニテ神戸市ハ下宿居住者一五%ニテ反ツテ自家居住者ハ僅カニ二%ニ過ギズ。

五、扶養家族

調査者數二五、二六七人中扶養家族無キ者ハ僅々六、五九二人二六%ニ過ギズ残余七四%、一八、六七五人ハ全テ一人以上ノ扶養家族ヲ有ス。

最モ多キハ扶養家族二人ヲ有スル者四、一六二人ニテ有扶養家族者總數ノ二二、四%ニ相當シ、三人アル者四、〇九四人二二、九%、四人アル者三、三八二人一八%、ヲ示ス即チ二人乃至四人ノ扶養家族アル者總數ノ六二、三%ヲ占ム、(第四圖參照)コレヲ都市別ニ見レバ東京市及神戸市ニ於テハ扶養家族無キ者二九%及二七%ニ達スルニ京都市ニ於テハ僅カニ九%ニ過ギズ

第三章 就勞關係

(一) 本人ニ關スルモノ

一、業 態

業 態 別	員 數	百分比
本 業	九、六五四	三八%
大 工	三、一九二	一三%
左 官	七	

本調査ハ土木建築勞働者中ノ前記職業種別ノモノヲ調査セルモノナルガ其ノ結果ヲ見ルニ調査總數二五、二六七人ノ業態別ハ次ノ如ク、中最多キハ大工九、六五四人三八%ニシテ次ギハ土工五、〇二三人二〇%左官及ビ左官ハ殆ンド同數ニテ約三、二〇〇人一三%ヲ示セリ。

石工	二、〇六九	八
土工	五、〇二三	二〇
鴛手傳	三、一七九	一三
鴛手傳	七六七	三
雜役	一、三八二	五
計	二五、二六七	一〇〇

ロ、副業

前記本業以外ニ何等カノ副業ニヨリ収入ノ道ヲ講ズル者ナキヤ。總數ノ九七、五%ニ四、六四五人ハ副業ヲ有セズ副業ヲ有スル者ハ僅々六二二人ニ、五%ニ過ギズ、コレヲ昭和五年國勢調査職業分類大分類ニ依リ示セバ次表ノ如シ、

業態別	員數	百分比
農業	九五	一五
水産業	一二	二
工業	二〇四	三三
商業	一五六	二五
交通業	一八	三
公務自由業	一一	二
家事使用人	八	一
其ノ他有業者	一一八	一九
計	六二二	一〇〇

即チ工業ニ屬スル者最モ多ク次ギハ商業、其ノ他有業者ノ順序ナリ、更ニコレヲ中分類ニテ詳述スレバ工業ニ於テハ土木建築ニ従事スル者第一位九二人、木竹草藁類ニ關スル製造ニ従事スル者二四人、金屬工業機械器具製造、造船運搬用具製造ニ従事スル者二一人、其ノ他ノ工業的職業二〇人コレニ次グ商業ニ於テハ商業的職業一四九人殆ンド全部ヲ占ム。

二、就勞日數

本項ハ最近三月乃至四月ニ於テ賃銀ヲ受ケタルト否ヲ問ハス實際稼働日數ヲ基礎トシテ一ヶ月間ニ於ケル平均就勞日數ヲ調査シタルモノナルガ最モ就勞率良好ナルモノハ一ヶ月ヲ通ジテ連日就勞セル者ニシテ六四九人ヲ算シ總數ノ二、五%ニ相當ス、コレニ反シテ一日モ就勞セザルモノ六八八人ニ、七%アリ其他ハ一日乃至二十九日就勞セルモノニテ其ノ概況ヲ示セバ次ノ如シ。就勞者數最モ多キハ一ヶ月二十日間就勞者七、二六四人二八、七%、次ギハ十五日間就勞者三、六一三人一四、三%二十五日間就勞者三、一五一人二二、五%、十日間就勞者二、〇四八人八、一%十八日間就勞一、〇六六人四、二%、二十三日間就勞七三二人二、九%ノ順序ナリ。(第五圖參照)

コレ等全部ノ就勞日數平均ハ一ヶ月一八・一日ナリ、全体ヲ通ジテ見レバ二四・八%六、二六五人ハ二十三日乃至三十日就勞セル者ニシテ約半數即五六・八%一四、三五九人ハ二十日乃至三十日間就勞セル者ナリ。(第六圖參照)

コレヲ職業別ニ見レバ就勞日數ノ平均ハ大工及土工ハ一八・八日ニテ最モ良ク石工ハ一八・五日、雜役ハ一七・八日、左官ハ一七・四日、鴛手傳ハ一六・八日、鴛ハ一五・八日、ニテ最悪ナリ。更ニ都市別ニスレバ神戸市良好ニテ一九・五日、京都市ハ總數平均ト同様一八・一日、東京市ハ一八日ナリ。

三、從屬關係

自己ノ就勞機會發見ニ付キテハ親方ニ從屬スルモノ及從屬セザル者ニ付差違アリ。親方ヲ有スル者ハ就勞スベキ工事ヲ自ラ開拓セズ全然親方ノ選擇ニ任ジ其ノ指示ニ從ヒテ稼働シ仕事ナキ場合ハ親方ヨリ生活保障ヲ受クルガ普通ノ状態トセラ。本調査ニ於テハ親方ト稱スル者ヲ有スルモ其ノ指圖ニヨリ就勞機會ヲ發見スルニ非ズシテ單ニ便宜上親方ヲ有スルモノ

ニシテ獨力ニテ稼働スル者ハ親方無キ者ニ包含セシメタリ、調査結果ニ依レバ親方無キ者ハ一四、七六〇人五九%ヲ占メ親方從屬者ヨリ多數ニシテ、中、二、七二二人約一八%ハ現在ハ親方ヲ有セザルモ嘗テハ從屬シタル經驗ヲ有スル者ナリ。現在親方ヲ有スル者ハ一〇、五〇七人ニシテ其ノ從屬期間ハ五年以上繼續從屬者最モ多數ニテ三、五七一人三四%ヲ占メ、次ハ一年乃至三年、二、七三〇人二六%、一年以下二、三三三人二三%（内、六ヶ月未滿ノ者一、二六四人）、三年乃至五年一、八三三人一七%ノ順序ナリ（第七圖參照）即チ比較的昨今從屬關係ニ入りタル者少クシテ長期ニ亘リテ從屬關係ヲ持續セル事ヲ示セリコレ從屬關係ハ比較的安定ニテ轉々親方ヲ變ズル事少キヲ語ルモノナルベシ。

更ニ職業別ニ親方ノ有無ヲ見レバ土工（五六%）及ビ寫手傳（五五%）ハ親方ヲ有スル者ノ割合多ク半数以上ヲ占メ其ノ他ニ於テハ逆ノ傾向ヲ見ル、親方ヲ有スル者ノ割合ヲ示セバ次ノ如シ、大工三七%、左官三四%、石工四〇%、鳶四二%、雜役三九%、（第七圖參照）

四、扶助關係

本項ハ過去ニ於テ親方ヨリ扶助ヲ受ケタルヤ否ヤ又ハ其ノ經驗ナキモ當該親方ト從屬者間ニカカル慣習又ハ定メアルヤ否ヤヲ調査セルモノニシテ扶助ノ種類ヲ次ノ三種トシタリ、

(イ) 失業ノ場合ノ生活扶助

(ロ) 傷病ノ場合ノ扶助

(ハ) 其ノ他ノ扶助

單ニ形式的ナル扶助（例ヘバ小額ノ見舞金ノ如キモノ）ニ過ギズト認メラルル場合ハ扶助ナキモノト見做シタリ。調査結果ニヨレバ親方從屬者ニシテコレ等三種中ノ何レカノ扶助ヲ受クル者ハ僅々一、七五六人ニシテ親方從屬者總數ノ一七%ニ過ギズ残り八、七五一人ハ全ク扶助ナキ状態ナリ。

單ニ失業扶助ノミヲ受クル者一六四人、傷病扶助ノミヲ受クル者一、〇七〇人其ノ他ノ扶助ノミヲ受クル者一三〇人ニテ上

述各種扶助ノ二種乃至三種ノ扶助ヲ併セ受クル者三九二人ニシテ最モ多キハ失業及傷病ノ扶助ヲ受クル者二二四人ナリ。即チコレヲ總括スレバ失業ニ關シテ扶助ヲ受クル者ハ總計四七八人傷病ニ關シテ扶助ヲ受クルモノハ總計一四五六人其ノ他ノ扶助ヲ受クル者總計二九八人ナリ。

五、工事ノ都合ニヨル移動回数

土木建築ハ其ノ性質上工事施行地ノ變動ヲ來スモノナルガコノ工事箇所ノ移動ニ伴ヒ通勤其ノ他ニ支障ヲ來ス結果労働者ハ便利ナル地ニ自己ノ住居ヲ移動スル事ハ往々ニシテ存スル事例ナリ、最近一ケ年間ニ於ケル工事ノ爲メノ移動回数ヲ見ルニ殆ンド全部二三、八三〇人九四%ハ移動セズ移動セル者ハ僅カニ一、四三七人六%ニ過ギズ。

移動シタル者ニ於テモ移動數一回ノ者最モ多ク六三〇人移動者總數ノ四四%ニ當リ二回移動者コレニ次ギ三八六人二七%、六回以上移動者二二七人一六%ヲ示ス。

コレ職業別ニ見レバ移動者數ノ多キハ土工ニテ六二七人移動者總數ノ四四%ヲ占ム加之回数ニ於テ六回以上ノ移動者ハ土工最モ多ク三八%ヲ占ム、次ニ移動者數ノ多キハ大工ニシテ三八三人二七%、鳶コレニ次ギ一六三人一一%ナリ。

(二) 世帯員ニ關スルモノ

一、業態

イ、本業

既述ノ如ク總數ノ七八%ノ者ハ一人以上ノ扶養家族ヲ有スル状態ナルガコレ等世帯員ニ於テ職業ヲ有シ一家ノ家計ノ補助ヲナス者ハ僅々五、八七八人九%ニ過ギズ残り九一%ハ無業者ナリ。業態別（昭和五年國勢調査職業分類大分類ニ依ル）ニコレヲ見レバ工業三、八五八人最モ多ク有業者ノ六六%ヲ占メ商業一、〇三八人一八%コレニ次グ更ニ中分類ニテ詳述スレバ飲食料品、嗜好品製造ニ従事スル者二、二四〇人一七%商業的職業七二七人二二%「其ノ他ノ有業者」三一五人五・三%、接客業

従事者二八一人四・八%、其ノ他ノ工業的職業「二七〇人四・五%ナリ。

ロ、副業

世帯員中副業ヲ有スル者モ本業ヲ有スル者ト同様僅少ニテ二、五一八人四%ニ過ギズ。副業種別ノ主タルモノヲ職業大分類別ニテ示セバ次ノ如シ、工業一、四五四人有副業者總數ノ五八%ニ當リ商業五五二人二二%、其ノ他ノ有業者三〇二人一二%ナリ更ニ中分類ニテ詳述スレバ最も多キハ被服裝身品製造ニ従事スル者六四〇人二五%、商業的職業四七一人一九%、其ノ他ノ有業者三〇二人一二%、其ノ他ノ工業的職業一八三人七%紙工業印刷ニ従事スル者一七八人七%、土木建築ニ従事スル者一六六人七%ナリ。

第四章 生計關係

本調査ノ收支ハ昭和八年三月中ノ收支ニ付キ調査シ支出ニ於テハ現金支拂ヲナサザルモ掛買ノモノハ支出トシテコレヲ計上シタリ。

(一) 収入ノ部

一、總収入

總世帯數二五、二六七世帯中無収入世帯一八四世帯〇・七%アリ、収入最低五圓未満世帯二〇七世帯〇・八%、最高一〇〇圓超過四六一世帯一・八%ヲ示セリ。残余五圓以上一〇〇圓以下收入世帯中最多數ハ二十五圓乃至三十圓收入世帯四、三一二世帯一七・一%ニシテ、コレニ次グハ二十圓乃至二十五圓世帯三、三五〇世帯一三・二%、十五圓乃至二十圓二、六八七世帯一〇・六%、三十五圓乃至四十圓二、六二八世帯一〇・四%、三十圓乃至三十五圓二、五二二世帯一〇・〇%ナリ。コレラ世帯員數別ニスレバ一人世帯ハ二十圓乃至二十五圓收入最も多ク二人、三人、四人、五人、六人世帯ハ二十五圓乃至

三十圓收入、七人世帯ハ三十五圓乃至四十圓、八人世帯ハ四十五圓乃至五十圓、九人世帯十人世帯及ビ十一人以上世帯ハ百圓超過最も多シ、コハ各世帯員數別ニ於ケル大体ノ標準ヲ示スモノニシテ更ニコレヲヨリ良ク示スモノトシ四分中數ヲ左ニ示ス即チQ₂ハ全体ノ中數Q₁ハ全体ノ前半ノ中數Q₃ハ後半ノ中數ヲ示ス(圖表第十二圖ハQ₁及ビQ₃ノ間ヲ以テ示シタルモノニシテ全体ノ五〇%ヲ線中ニ包含スルモノナリ)即チ一人世帯ニ於テハ五〇%ノモノハ十六圓五十錢乃至二十八圓四十錢ノ收入アリ二人世帯ニ於テハ二十一圓九十錢乃至四十三圓五十錢ニシテ世帯員數ヲ増加スルニ從ヒ總収入モ増加シ十一人以上世帯ニ於テハ六十一圓三十錢乃至百一圓三十錢ノ收入ナリ更ニ全体ヲ代表スル中數Q₂ヲ取レバ一人世帯二十二圓六十錢、二人世帯二十八圓九十錢、三人世帯三十一圓二十錢、四人世帯三十四圓、五人世帯三十五圓六十錢、……十一人以上世帯八十圓八十錢ノ如ク同ジク世帯員數ノ増加ニ伴ヒテ總収入金額モ増加ス。同様ノ傾向ハ統計表第十四表ノ一世帯平均世帯員數ト一世帯平均總收入トノ關係ニ於テモ見ラル即一世帯平均總收入金額ノ多キモノハ平均世帯員數モ多シ。

世帯員數別總收入四分中數表

世帯員數	Q ₁	Q ₂	Q ₃
一人世帯	一六・五	二二・六	二八・四
二人世帯	二一・九	二八・九	四三・五
三人世帯	二三・六	三一・二	四一・〇
四人世帯	二五・二	三四・〇	四六・二
五人世帯	二五・九	三五・六	四九・四
六人世帯	二六・七	三八・九	五四・九
七人世帯	三〇・五	四四・三	六三・九
八人世帯	三四・八	四八・六	六七・二
九人世帯	四〇・六	五八・四	七八・二
十人世帯	四三・四	六一・八	九一・〇
十一人以上世帯	六一・三	八〇・八	一〇一・三

ヲ比較スルモ二倍ニ達セズ然ルニ總収入ノ四分中數ヲ見レバ其ノ間約三倍半ノ増加ヲ示セリ、即チコノ總収入ニ於ケル増加ハ本人ノ勤勞收入ノ増加ニ依ルヨリモ勤勞收入外ノ收入及本人以外ノ世帯員ノ收入等ノ増加ニ基因スルモノト謂フベシ。

二、本人勤勞收入

本項ノ勤勞收入ハ土木建築業本來ノ稼働ニヨル收入ノミナラズ祝祭飾付等ニ依ル收入ヲモ包含ス但シ祝儀ハコレヲ含まズ。

金額別ニ其ノ狀況ヲ見レバ世帯數ノ最多キハ二十五圓乃至三十圓收入世帯ニシテ五、三二二世帯二・一%ヲ占メコレニ次
 グハ二十圓乃至二十五圓收入世帯三、九四三世帯一五・六%、十五圓乃至二十圓收入三、五五五世帯一四・一%、三十五圓乃至
 四十圓二、七三三三世帯一〇・八%、三十圓乃至三十五圓二、二九九世帯九・〇%ナリ。コレヲ概括スレバ十五圓乃至三十圓ノ收
 入世帯全体ノ五〇・八%ニ相當ス。百圓超過收入世帯五二世帯二%、無收入世帯七二二世帯二八%ヲ示セルハ注目ニ値ス。

更ニ四分中數ニヨリ世帯員數ノ増加ト收入金額ノ増加トノ關係ヲ求ム
 レバ前項ニ述ベタル如ク勤勞收入ハ總收入ト異リ其ノ性値上左程大ナ
 ル増加傾向ヲ示サズ略々一定ノ狀態ヲ保テリ。

三、世帯平均收入

總世帯數二五、二六七世帯ノ收入總額九二一、六〇一圓一三錢ニシテ其
 ノ一世帯平均ハ三十六圓四十七錢ナリ、コレヲ都市別ニ見レバ平均收
 入ノ最多キハ京都市ノ四十五圓二十八錢、次ギハ神戸市ノ四十四圓
 七十八錢、東京市ノ三十四圓八十六錢ナリ。

コノ一世帯平均收入ノ内譯ヲ見レバ七七%ハ本人ノ勤勞收入ニシテ二
 十七圓九十一錢、本人以外ノ世帯員ノ收入ハ五圓四十四錢一五%ヲ占

世帯員數別勤勞收入四分中數表

一人世帯	一六・六二	二二・五六	二八・三五
二人世帯	一八・八九	二六・二八	三三・七四
三人世帯	一九・三九	二六・八七	三六・五七
四人世帯	二〇・四〇	二七・八五	三六・九四
五人世帯	一九・四六	二七・五〇	三六・六三
六人世帯	一九・四八	二七・六四	三七・三二
七人世帯	二〇・九五	二九・一三	三八・六七
八人世帯	二一・二三	二八・六三	三九・〇七
九人世帯	一八・九〇	二七・八一	三八・七〇
十人世帯	一九・五〇	二七・五〇	三八・五〇
十一人以上世帯	二〇・八三	三一・一一	四四・三八

メ本人ノ勤勞外ノ收入ハ二圓九十八錢八%ナリ親方ノ扶助ハ僅カ四錢其ノ他ノ公私ノ扶助ハ十錢ニ過ギズ(十六圓のA參照)
 總收入金額別ニ勤勞收入ノ總收入中ニ占ムル割合ヲ見レバ最高キハ十圓乃至二十圓收入世帯ニテ九四%、次ギハ二十圓乃
 至三十圓收入世帯ノ九二%、十圓未満收入世帯ノ八九%ニシテ總收入金額ノ増加スルニ從ヒ其率ハ減少シ百圓超過收入世帯
 ニ於テハ三八%ニ當ルモ何レモ世帯總收入中ニ於テハ本人ノ勤勞收入ガ最多キ割合ヲ占ム。勤勞收入以外ノ本人ノ收入
 及ビ世帯員ノ收入ハコレニ反シテ總收入金額ノ増加スルニ從ヒ其ノ占ムル割合ヲ増加シ勤勞以外ノ收入ニ見レバ十圓未満收

入世帯ニテハ四%、十圓乃至二十圓收入世帯二%ニシテ次第ニ増加シ九十圓乃至百圓收入世帯ニテハ二%百圓超過世帯ニ
 テハ三五%ヲ占ム、同ジク世帯員收入ニ於テモ十圓未満收入世帯ニテハ五%ナルニ百圓超過收入世帯ニテハ二七%ヲ占メ八
 十圓乃至九十圓收入世帯ニテハ三五%占ム。コレ世帯總收入増加ト共ニ平均世帯員數増加セル故世帯員中ノ稼働者數モ増
 加スルニ依ルト思ハル。扶助(親方扶助及其ノ他ノ公私扶助ヲ合ス)ハ十圓未満收入世帯ニテ二%、十圓乃至二十圓收入世帯
 一%、三十圓乃至四十圓收入世帯一%ニテ他ハ全部〇%ナリ(第十六圖ノB參照)

(二) 支出ノ部

一、總支出

世帯員數別總支出四分中數表

一人世帯	一五・八	二一・六	二六・四
二人世帯	二七・二	三三・七	四一・四
三人世帯	三一・六	三八・四	四八・四
四人世帯	三四・〇	四二・三	五三・三
五人世帯	三七・〇	四六・四	五八・一
六人世帯	四一・六	五〇・一	六四・二
七人世帯	四七・三	五七・六	七四・〇
八人世帯	五〇・四	六一・〇	七七・九
九人世帯	五七・一	七〇・一	八九・二
十人世帯	六三・八	七八・八	一〇〇・〇
十一人以上世帯	七八・一	九三・一	一〇二・〇

總支出金額即チ一世帯ノ生計費總額ニ就キテ金額別ニ世帯數ノ分布構
 成ヲ見ルニ最多キハ二十五圓乃至三十圓支出世帯二、九一一世帯一
 一・五%ニシテ次ギハ三十五圓乃至四十圓支出、二、八四八世帯一・三
 %、二十圓乃至二十五圓二、七六一世帯一〇・九%三十圓乃至三十五圓
 二、六七四世帯一〇・六%ニシテコレヲ概括スレバ二十圓乃至四十圓四
 四・三%ヲ占ム。

コレヲ世帯員數別ニスレバ一人世帯ニ於テハ二十圓乃至二十五圓、二
 人世帯ハ二十五圓乃至三十圓、三人、四人世帯ハ三十五圓乃至四十圓、
 五人、六人、七人世帯ハ四十五圓乃至五十圓、八人世帯五十五圓乃至六
 十圓、九人、十人、十一人以上世帯ハ一〇〇圓超過支出ノ世帯最多ク

コレ大体ノ傾向ヲ示スモノナリ。更ニヨリ良ク狀況ヲ示ス四分中數ヲ見レバ次表ノ如シコレヲ中數Q₁ニテ其ノ傾向ヲ見レバ

一人世帯ノ中數ハ二十一圓六十錢、二人世帯ハ三十三圓七十錢、三人世帯ハ三十八圓四十錢ニテ世帯員數ノ増加ニ伴ヒ漸次増加シテ十一人以上世帯ニ於テハ九十三圓十錢ナリ、コレヲ世帯總收入ニ於ケルソレト比較スレバ支出ノ方收入ヨリモ其ノ増加ノ傾向大ナリ即チ第十二圖ニ示ス如ク收入ニ於テハ黒斜線ノ如キ傾向ヲ以テ増加スルニ不拘支出ニ於テハ朱斜線ノ示ス如キ傾向ナリ。コレヲ四分中數ニテ比較スルモ一人世帯ニ於テハ收入ハ二十二圓六十錢ナルニ支出ハ二十一圓六十錢ニテソノ差一回ノ收入超過ナルニ不拘十一人以上世帯ニ於テハ八十圓八十錢支出ハ九十三圓十錢ニテ十二圓三十錢ノ支出超過ナリ。

二、生 活 費

本項ニ言フ生活費ハ食費（被調査者ノ住居ガ持屋、借家、間借、木賃、宿泊所ノ場合ニ於ケル食費ヲ謂フ、從ツテ親方寄寓ノ者ハ之ヲ除ク）嗜好品費、被服費、家族小遣、湯錢等直接必要額ヲ包含セルガ、金額別ニ世帯分布構成ヲ見レバ最も多キハ十五圓乃至二十圓支出世帯四、一・五世帯一六・三%、二十五圓乃至三十圓支出世帯三、八九一・一五・四%、二十圓乃至十五圓三、四八二世帯一三・八%、十圓乃至十五圓二、九六二世帯一・七%、コレニ次グコレヲ總括スレバ十圓乃至三十圓支二出世帯一四、四五〇世帯五七・二%ヲ占ム。コレヲ世帯員數別ニテ多數世帯ノ占ムル金額ヲ示セバ一人世帯ニ於テハ十圓乃至十五圓支出、二人、三人世帯ハ十五圓乃至二十圓、四人、五人、六人、七人世帯二十五圓乃至三十圓、八人世帯三十五圓乃至四十圓、九人世帯四十五圓乃至五十圓、十人、十一人以上世帯五十五圓乃至六十圓ナリ。

三、平 均 支 出

全世界帯ノ總支出金額總計ハ一、〇五九、二三〇圓ニテ一世帯平均支出額四十一圓九十二錢ニテ其ノ内譯ヲ示セバ生活費二十五圓六十一錢、家賃、間代、宿泊料、地代、飯場料、下宿料等十圓七十六錢、其ノ他五圓五十五錢ナリ。コレヲ世帯總收入金額別ニヨリテ見レバ無收入世帯ニテ平均四十六圓二十七錢ノ支出アルハ最も悲惨ナル状態ヲ示スモノト言フベク十圓未満收入世帯ニテ二十一圓二十一錢、十圓乃至二十圓收入世帯ニテ二十五圓七十八錢、二十圓乃至三十圓收入世帯ニテ二十五圓七十八錢、二十圓乃至三十圓收入世帯ハ三十二圓三十錢ノ平均支出ニテ其ノ後ハ收入増加ニ伴ヒ支出額モ

増加シ百圓超過收入世帯ニ於テハ一九九圓九十三錢ノ平均支出ナリ、コレヲ都市別ニ見レバ京都市最も平均支出額多ク五十一圓五十二錢、神戸市四十七圓四十一錢、東京市最も少額ニテ四十圓四十九錢ナリ。

コレ等平均支出ノ内譯ヲ「生活費」「間代、家賃、地代、宿泊料、飯場料、宿賃、下宿料」及「其ノ他」ノ三種ニ區別スレバ總支出額中最モ多クヲ占ムルハ生活費ノ六一%ニテ「家賃、間代、地代、宿泊料、飯場料、宿賃、下宿料」ハ二六%、「其ノ他」ハ一三%ナリ。

支出中ノ生活費ノ割合ヲ總收入金額別ニ依リ見レバ無收入ヨリ七十圓乃至八十圓收入世帯ニ至ル間ハ收入増加ニ從ヒ其ノ割合漸次増加シ七十圓乃至八十圓ニテ最高ニ達シ六六%ヲ示シコレ以上ノ收入世帯ニ於テハ漸次減少ノ傾向ヲ示シ八十圓乃至九十圓收入世帯六五%、九十圓乃至百圓收入世帯六四%、百圓超過收入世帯六三%ヲ占ム。

「家賃、間代、宿泊料、地代、飯場料、下宿料」ノ總支出ニ對スル割合ハ合計ニ於テ二六%ニシテ各收入階級別ニ於テハ二〇乃至三〇%ヲ占ム而シテ總收入金額ノ少キ世帯ニ於ケル方比較的高率ニシテ十圓乃至二十圓及ビ二十圓乃至三十圓收入世帯ニ於テ最も割合多ク二九%ヲ占ムコレヨリ收入増加スルニ從ヒ漸次割合ヲ減ジ百圓超過世帯ニ於テハ最少ノ一八%ヲ示セリ。（第十六圖ノA參照）

(三) 收入支出對照

既述ノ如ク一世帯平均ノ總收入金額ハ三十六圓四十七錢一世帯平均ノ總支出額ハ四十一圓九十二錢ニシテ差引五圓四十五錢ノ支出超過ヲ示ス收入ヲ一〇〇トスレバ支出ハ一一五ノ比率ナリ。

コレヲ都市別ニ見レバ東京市ニ於テハ平均收入三十四圓八十六錢、平均支出四十圓四十九錢、差引支出超過五圓六十三錢ニテ支出比率一一六ヲ示シ比率ニ於テハ三市中第一ナリ。京都市ハ平均收入四十五圓二十八錢、平均支出五十一圓五十二錢、差引六圓二十四錢ノ支出超過ニテ三市中支出超過額ハ最も多ク支出比率ハ一一四ナリ、神戸市ニ於テハ平均收入四十四圓七

十八錢、平均支出四十七圓四十一錢、差引二圓六十三錢ノ支出超過支出比率一〇六ナリ。
 總收入金額別ニコレヲ見レバ支出超過額最モ多キハ十圓未滿收入世帯ニテ二十三圓六十一錢支出比率二七九即チ收入金額ノ約二倍半ノ支出ナリ。支出超過額モ收入増加ニ從ヒ漸次ニ少額トナリ六十圓乃至七十圓收入世帯ニ於テハ支出超過一圓四十八錢、支出比率一〇二トナリ、七十圓乃至八十圓收入以上ノ世帯ハ反對ニ收入超過トナリ支出比率モ八三乃至九九ヲ示シ百圓超過收入世帯ニ於テハ二十四圓九錢ノ收入超過支出比率八三ヲ示ス。

一世帯平均收支對照表

總收入金額別	世帯數	一世帯平均世帯員數	一世帯平均收入	一世帯平均支出	同上收支ノ差 △ハ支出超過	支出比率 (一世帯平均總收入ヲ一〇〇トシ一世帯平均總支出ノ率)
無收入	一八四	三・六二	七・六〇	四六・二七	△	一三・六一
十圓未滿	八八五	二・三一	一七・〇八	二一・二一	△	八・七〇
十圓—二十圓	四、二〇九	二・五四	二六・五九	三三・三〇	△	五・七一
二十圓—三十圓	七、六六二	二・九〇	三五・九三	四一・八六	△	四・一一
三十圓—四十圓	五、一四九	三・六〇	四六・二九	五〇・四〇	△	三・一五
四十圓—五十圓	三、〇二九	四・一九	五五・五八	六七・七一	△	一・四八
五十圓—六十圓	一、六〇七	四・八七	六六・二三	七五・七〇	△	〇・七九
六十圓—七十圓	八九八	五・二五	七六・四九	八四・一九	△	二・三八
七十圓—八十圓	六二〇	五・三五	八六・五七	九六・六一	△	〇・六〇
八十圓—九十圓	三二六	五・七二	九七・二一	一一九・九三	△	二四・〇九
九十圓—百圓	二四七	五・八三	一四四・〇三	四一・九二	△	五・四五
百圓超過	四六一	六・〇八	三六・四七	四〇・四九	△	五・六三
計	二五、二六七	三・五二	三四・八六	四〇・四九	△	一一・六一
東京市	二一、二五三	三・四六	三四・八六	四〇・四九	△	一一・六一
京都市	二、〇四七	四・二〇	四五・二八	五一・五二	△	六・二四
神戸市	一、九六七	三・四〇	四四・七八	四七・四二	△	二・六三

猶ホ收支ノ均衡状態ヲ總收入金額別ニ世帯數ノ分布構成ヲ見レバ世帯總數二五、二六七世帯中收入不足世帯ハ一四、二六五世帯五七%ニテ過不足無ク均衡ヲ得タル世帯ハ五、一五八世帯二〇%、残余五、八四四世帯二三%ガ残余アル世帯ニテ不足世帯ノ極メテ多數ナルヲ見ル。

(イ) 剰余世帯

剰余世帯總數五、八四四世帯中最モ多キハ二十五圓乃至三十圓收入世帯九五二世帯一六、三%ナリ次ギハ三十五圓乃至四十圓收入世帯六二二世帯一〇・六%、二十圓乃至二十五圓、六〇二世帯一〇・三%、三十圓乃至三十五圓五六四世帯九七%、四十圓乃至四十五圓四三六世帯七・五%、四十五圓乃至五十圓三八九世帯六・七%ナリ。

コレヲ更ニ世帯員數別ニ見レバ一人世帯ニ最モ多ク二、六四七世帯、次ギハ三人世帯ニ七八九世帯、四人世帯六三七世帯、二人世帯五九〇世帯、五人世帯四七七世帯ノ順序ナリ。

翻ツテコレガ過不足ナキ世帯トノ比較ヲ求ムレバ過不足ナキ世帯ヲ一〇〇トシテ剰余世帯ノ割合 $(\frac{\text{剰余世帯員數}}{\text{總全世帯員數}} \times 100)$ ヲ見レバ次ノ如シ、

總收入金額別			世帯員數別		
過不足ナキ世帯ニ對スル剰余及不足世帯割合	剰余世帯割合	不足世帯割合	世帯員數別	剰余世帯割合	不足世帯割合
五圓未滿	三一	一四五	一人世帯	一〇四	五五
五圓—十圓	二五	三三九	二人世帯	一二五	二八二
十圓—十五圓	二二	三二九	三人世帯	一一一	四一六
十五圓—二十圓	三三	二二四			
二十圓—二十五圓	七二	二二九			

二十五圓—三十圓	一一九	三三一	四	一〇九	四八九
三十圓—三十五圓	一三四	三六六	人	一一八	六二一
三十五圓—四十圓	一三二	三二七	人	一三三	六八一
四十圓—四十五圓	一六六	三三〇	人	一三三	六九四
四十五圓—五十圓	一八三	二四〇	人	一三三	六八一
五十圓—五十五圓	一七三	二六六	人	一三三	六八一
五十五圓—六十圓	二五三	二六一	人	一三三	六八一
六十圓—六十五圓	一七八	二六六	人	一三三	六八一
六十五圓—七十圓	二五五	二四三	人	一三三	六八一
七十圓—七十五圓	二九一	二四七	人	一三三	六八一
七十五圓—八十圓	四二四	二二九	人	一三三	六八一
八十圓—八十五圓	四三二	一八四	人	一三三	六八一
八十五圓—九十圓	七二九	二四三	人	一三三	六八一
九十圓—九十五圓	二六四	一五八	人	一三三	六八一
九十五圓—百圓	六九〇	一七一	十一人以上	二六七	五八三
計	一一三	二七七			

即ち總收入金額ノ増加スルニ從ヒテ剰余世帯ノ率増加ノ傾向ヲ示ス、五圓未満ノ收入ニ於テハ剰余世帯僅カ三一%ニ過ギザルモ百圓超過世帯ニ於テハ六九〇%ニシテ(第十三圖ノ〇参照)前述一世帯平均收支對照ニ於テ收入金額ノ増加ニ伴ヒ支出超過減少シ支出比率漸減セル状態ト照應スルモノニシテ剰余世帯ノ狀況ヲ最モ良ク示スモノト思料セラル。

コレヲ世帯員數別ニスレバ世帯員數ノ増加ニ伴ヒ幾分ノ増加ヲ示ス第十三圖ト比較スレバ世帯員數ノ増加ニ伴ヒ收入金額モ増加スルニ付キ從ツテ剰余世帯モ割合ヲ増スモノト思考セラル(第十四圖ノ〇参照)

不足世帯最モ多キハ二十五圓乃至三十圓收入世帯ニテ二、五六二世帯一八%、コレニ次グハ二十圓乃至二十五圓收入世帯一、九一二世帯一三・四%、十五圓乃至二十圓一、六九四世帯一・九%、三十圓乃至三十五圓及三十五圓乃至四十圓、各々一、五三七世帯一〇・八%ナリ、世帯員數別ニ見レバ四人世帯最モ多ク二、八七〇世帯、三人世帯二、七一九世帯、五人世帯二、五〇二世帯、六人世帯一、八六〇世帯ナリ。

過不足無キ世帯ヲ一〇〇トシテ其ノ割合ヲ見レバ(前掲總收入金額別過不足ナキ世帯ニ對スル剰余及不足世帯割合参照)收入金額少キモノ程割合多ク收入金額増加ニ伴ヒ漸次減少ノ傾向ヲ示セリ即チ收入金額五圓未満ハ一四五、五圓乃至十圓、三三九、十圓乃至十五圓三二九ナルニ九十五圓乃至百圓ハ一五八、百圓超過ハ一七一ナリ(第十三圖ノ〇参照)カカル状態ハ一世帯平均收支對照ニ於ケル状態ト照應シ不足世帯ノ狀況ヲ最モ良ク示スモノト思ハル。

更ニ世帯員數別ニスレバ一人世帯ニテハ五五、二人世帯二八二ニシテ世帯員數ノ増加スルニ從ヒ増加シ九人世帯ニ於テハ六三二、十人世帯六五五、十一人以上世帯五八三ヲ示ス(第十四圖ノ〇及ビ前掲世帯員數別過不足ナキ世帯ニ對スル剰余及不足世帯割合参照)即チ第十三圖ニ示ス如ク世帯總入額ハ世帯員數増加ニ伴ヒ増加スルモ他方支出ハ收入ノ増加以上ニ増加シ從ツテ收入不足世帯ノ割合モ増加スルモノト思料セラル。

斯ノ如ク剰余世帯總數五、八四四世帯不足世帯總數一四、二六五世帯ニシテ其ノ剰余額及不足額ヲ金額別ニ見レバ剰余金額ニ於テハ二圓以下ノモノ最モ多ク一、二五四世帯二・一五%、四圓乃至六圓九六一世帯一六・四%、二圓乃至四圓九三九世帯一六・一%、十五圓以上九〇二世帯一五・四%コレニ次グ(第十五圖参照)コレヲ概括スレバ十圓以下ノ剰余アルモノ四、三一五世帯七三・八%ヲ占ム。

不足金額ニ於テハ五圓以下ノ不足アルモノ四、一六三世帯二九・二%、五圓乃至十圓三、五四五世帯二四・九%、十圓乃至十五圓二、三六四世帯一六・六%、十五圓乃至二十圓一、六〇二世帯一・二%、二十圓乃至二十五圓九一七世帯六・四%ニシテ五十圓超過ノモノ三三一世帯アリ二・三%ヲ占ムルハ注目ニ値ス。コレヲ概括スレバ十圓以下ノ不足アルモノ五三・一%七、七〇八世帯ナリ。即チ不足ハ世帯數ニ於テモ金額ニ於テモ剰余ノソレヨリ多キ事ヲ知ル。

(四) 剰余額處分方法及不足額補填方法

前項ノ如ク剰余及不足ヲ生ゼルガコレヲ如何ニ使用シ如何ニシテ補填スルカ左ニソレヲ見ル。

剰余額ハ貯金預入二四・四%、保険料支拂一八・六%、國許送金二二・六%、債務辨濟一一%等ナリ其ノ件數ヲ示セバ次ノ如シ、

	件 數	百分比
貯 金 預 入	一、七九二	二四・四 %
保 險 料 支 拂	一、三六八	一八・六
債 務 辨 濟	八〇九	一一・〇
國 許 送 金	九二三	一二・六
其 他	二、四五九	三三・五
合 計	七、三五一	一〇〇・〇

不足補填方法トシテハ一般中産階級以下ノ家庭ニ於テ普通見ル處ト異ラズ特ニ特徴トシテ擧グベキモノナケレドモ最モ件數ノ多キハ家賃間代地代等ノ滯納八、九一二件三五・一%ニ達シ、負債ニヨリテ苦境ヲ切り抜クル者コレニ次ギ五、四四二件二一・四%、品物ヲ掛買トシテ支拂ヲ延期スルモノ三、四四一件一三・六%、親戚知人ノ援助ニヨリ辛ウジテ過ス者二、二五六件八・九%、入質一、九九一件七・八%貯金引出保險解約一、七三一件六・八%ニシテ結局コレ等如何ナル方法ニ依ルモ補填スル術ナキ者一三三件〇・五%ヲ示ス

	件 數	百分比
家賃間代地代等ノ滯納	八、九一二	三五・一
負 債	五、四四二	二一・四
掛 買	三、四四一	一三・六
入 質	一、九九一	七・八
親戚知人ノ補助	二、二五六	八・九

家 財 賣 却	三七一	一・五
貯金引出、保險解約、無盡取金	一、七三一	六・八
其 他	一、〇九八	四・三
補填方法ナシ	一三三	〇・五
合 計	二五、三七五	一〇〇・〇

(第十五圖參照)

昭和九年二月十六日印刷
昭和九年二月十七日發行

社會局 社會部

印刷人 西脇清太郎
東京市京橋區木挽町二丁目二十一番地

印刷所 西脇印刷所
電話京橋(56)一八八〇番

土木建築労働者生活状態調査統計表

統計表目次

	頁
第一表 本人・年齢別・教育程度別・都市別・員數	1
第二表 本人・出生地別員數	2
第三表 本人・現職業別・居住ノ種類別員數	3
第四表 本人・現職業別・扶養家族有無別員數	4
第五表 現職業別・最近一ヶ月ニ於ケル平均就勞日數	6
第六表 現職業別・親方有無・從屬期間・扶助種類別・員數	8
第七表 本人・職業別 <small>最近一ヶ年間ニ於ケル 工事ノタメノ移動回數</small> 別・員數	9
第八表 本人並本人ヲ除ク世帯員副業別・都市別・員數	10
第九表 本人ヲ除ク世帯員・本業別・都市別・員數	19
第十表 總收入金額別・收入過不足別・世帯員數別・世帯數	20
第十一表 本人・勤勞收入金額別・世帯員數別・都市別・員數	24
第十二表 世帯總支出金額別・世帯員數別・都市別・員數	26
第十三表 生活費金額別・世帯員數別・都市別・世帯數	28
第十四表 世帯總收入金額別・都市別・收入支出比例表	30
第十五表 收入過不足額別・世帯員數別・都市別・世帯數	31
第十六表 不足額補填方法別・都市別・件數	33
第十七表 剩餘額處分方法別・都市別・件數	33

第一表 本人・年齢別・教育程度別・都市別・員數

都市別	教育程度別	年齢別										計	百分比	
		20歳以下	21" - 25歳	26" - 30"	31" - 35"	36" - 40"	41" - 45"	46" - 50"	51" - 55"	56" - 60"	61" 以上			
東京市	未就學	7	46	126	145	170	196	168	205	186	209	1,458	7	
	尋小	半退	20	116	307	404	498	448	396	268	164	71	2,692	13
		卒業	286	1,278	2,132	2,443	2,249	1,542	1,056	587	312	143	12,028	57
	高小	半退	19	118	167	179	202	121	81	29	10	1	927	4
		卒業	153	556	759	722	724	409	248	85	35	4	3,695	17
	中等	半退	4	35	61	57	47	34	11	3	3	—	255	1
		卒業	5	30	51	36	32	23	14	5	2	—	198	1
計		494	2,179	3,603	3,986	3,922	2,773	1,974	1,182	712	428	21,253	100	
百分比		2	10	17	19	19	13	9	6	3	2	100	—	
京都市	未就學	1	4	12	17	10	8	18	11	10	7	98	5	
	尋小	半退	—	8	16	37	30	33	30	33	24	9	220	11
		卒業	7	82	144	260	263	178	177	115	79	46	1,351	66
	高小	半退	2	8	9	15	15	18	5	2	2	—	76	4
		卒業	2	30	39	46	71	53	24	12	2	—	279	13
	中等	半退	1	3	1	2	4	5	—	1	—	—	17	1
		卒業	—	—	1	3	1	1	—	—	—	—	6	—
計		13	135	222	380	394	296	254	174	117	62	2,047	100	
百分比		1	7	11	19	19	14	12	8	6	3	100	—	
神戸市	未就學	—	11	20	26	22	24	20	19	17	21	180	9	
	尋小	半退	6	15	25	39	71	46	39	43	31	13	328	17
		卒業	10	115	163	175	195	139	66	66	38	14	981	50
	高小	半退	5	16	25	17	17	14	5	11	—	1	111	6
		卒業	14	70	57	61	67	36	13	15	6	1	340	17
	中等	半退	—	2	5	4	2	2	2	1	—	—	18	1
		卒業	2	1	2	1	2	1	—	—	—	—	9	—
計		37	230	297	323	376	262	145	155	92	50	1,967	100	
百分比		2	12	15	16	19	13	7	8	5	3	100	—	
合計	未就學	8	61	158	188	202	228	206	235	213	237	1,736	7	
	尋小	半退	26	139	348	480	599	527	465	344	219	93	3,240	13
		卒業	303	1,475	2,439	2,878	2,707	1,859	1,299	768	429	203	14,360	57
	高小	半退	26	142	201	211	234	153	91	42	12	2	1,114	4
		卒業	169	656	855	829	862	498	285	112	43	5	4,314	17
	中等	半退	5	40	67	63	53	41	13	5	3	—	290	1
		卒業	7	31	54	40	35	25	14	5	2	—	213	1
計		544	2,544	4,122	4,689	4,692	3,331	2,373	1,511	921	540	25,267	100	
百分比		2	10	16	19	19	13	9	6	4	2	100	—	

第二表 本人・出生地・員数

都府市別	東 京 市				京 都 市				神 戸 市				合 計							
	市	町	村	其他	市	町	村	其他	市	町	村	其他	市	町	村	其他				
北海道	43	39	112	—	—	1	—	—	1	2	1	1	—	4	45	41	113	—	199	
青森	17	39	125	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	39	125	—	181	
岩手	7	56	217	—	—	—	4	—	4	—	—	1	—	1	7	56	222	—	285	
宮城	37	66	163	—	—	—	1	—	1	—	—	2	—	2	37	66	166	—	269	
秋田	19	106	316	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	106	316	—	441	
山形	28	95	365	—	—	—	1	—	1	—	—	2	—	2	28	95	368	—	491	
福島	46	164	759	—	—	1	1	—	2	—	4	1	—	5	47	169	760	—	976	
茨城	28	212	782	—	—	1	1	—	3	—	—	1	—	1	28	213	785	—	1,026	
栃木	38	172	743	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1	39	172	744	—	955	
群馬	58	92	442	—	—	—	1	—	1	—	1	—	—	2	58	93	444	—	595	
埼玉	13	201	1,072	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1	13	201	1,073	—	1,287	
千葉	23	402	1,044	—	—	—	1	—	2	1	1	—	—	2	24	404	1,045	—	1,473	
東京都	5,248	457	231	—	—	2	—	—	4	7	—	—	—	7	5,257	457	233	—	5,947	
新東京	129	162	296	—	—	1	—	—	2	2	1	3	—	6	132	163	300	—	595	
新潟	63	344	1,358	—	—	1	4	8	13	—	2	3	—	5	64	350	1,369	—	1,783	
富山	19	55	261	—	—	7	9	35	—	51	4	1	9	14	30	65	305	—	400	
石川	13	33	146	—	—	7	9	69	—	85	3	1	13	17	23	43	228	—	294	
福井	3	18	77	—	—	7	11	74	—	92	3	2	9	14	13	31	160	—	204	
山梨	7	33	313	—	—	—	—	1	—	1	—	2	—	3	7	34	316	—	357	
長野	38	70	505	—	—	—	2	2	—	4	—	1	4	5	38	73	511	—	622	
岐阜	7	17	94	—	—	2	2	24	—	28	2	—	4	6	11	19	122	—	152	
静岡	40	148	407	—	—	—	3	3	—	3	1	3	3	7	41	151	413	—	605	
愛知	35	57	158	—	—	7	11	12	—	30	6	2	8	16	48	70	178	—	296	
三重	8	21	102	—	—	2	11	30	—	43	6	9	23	38	16	41	155	—	212	
滋賀	—	7	38	—	—	45	10	18	307	335	—	2	12	14	10	27	357	—	394	
京都	35	10	20	—	65	693	35	290	—	1,018	13	3	8	24	741	48	318	—	1,107	
大阪	71	14	15	—	100	15	5	20	—	40	50	10	13	73	136	29	48	—	213	
兵庫	13	26	62	—	101	5	6	42	—	53	405	110	357	872	423	142	461	—	1,026	
和歌山	—	14	19	—	33	—	2	12	—	14	—	4	6	10	—	20	37	—	57	
鳥取	1	12	30	—	43	—	—	3	—	3	7	10	14	31	8	22	47	—	77	
徳島	—	4	23	—	27	—	4	14	—	18	7	4	18	29	7	12	55	—	74	
香取	—	19	68	—	87	—	3	27	—	30	3	8	40	51	3	30	135	—	168	
鹿嶋	6	20	57	—	83	—	1	25	—	28	12	21	81	114	19	43	163	—	225	
廣島	12	16	74	—	102	2	3	15	—	20	15	16	30	61	29	35	119	—	183	
山口	3	26	97	—	126	1	4	1	—	6	5	1	8	14	9	31	106	—	146	
徳島	1	9	31	—	41	—	1	8	—	9	9	42	63	114	11	51	102	—	164	
香取	4	13	40	—	57	4	2	15	—	21	19	22	21	112	27	37	126	—	190	
高知	7	10	43	—	60	—	1	13	—	14	5	3	23	31	13	13	79	—	105	
高知	1	9	44	—	54	—	1	7	—	8	5	6	11	22	6	16	62	—	84	
福佐	19	28	72	—	119	—	1	1	—	2	7	3	5	15	27	31	78	—	136	
佐長	2	7	27	—	36	—	1	—	—	1	—	5	4	9	2	13	31	—	46	
崎	8	9	45	—	62	—	1	2	—	3	3	3	9	15	11	13	56	—	80	
熊大	2	10	42	—	54	2	—	1	—	3	5	1	1	7	9	11	44	—	64	
宮分	4	11	52	—	67	—	—	2	—	2	1	1	6	8	5	12	60	—	77	
崎	1	7	18	—	26	—	—	—	—	—	—	—	3	3	1	7	21	—	29	
鹿兒	2	12	80	—	94	—	—	4	—	4	3	6	16	25	5	18	100	—	123	
沖繩	—	3	8	—	11	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—	4	9	—	13	
其他	—	—	—	646	646	—	—	—	42	42	—	—	—	152	152	14	134	688	—	840
計	6,159	3,355	11,093	646	21,253	774	150	1,080	43	2,047	611	312	892	152	1,967	7,558	3,821	13,199	689	25,287

第三表 本人・現職業別・居住ノ種類別

都府市別	居住種類別 職業別	親方寄寓	仮場	持家	借家	間借	下宿	木賃宿	宿泊所	其他	計	百分比
		東 京	大工	260	80	1,281	4,826	736	624	4	28	226
	左官	72	20	435	1,410	218	167	1	4	54	2,381	11
	石工	22	27	173	1,207	170	110	—	3	34	1,746	8
京 市	土工	249	471	262	1,740	735	683	42	137	222	4,541	21
	寫手	46	58	556	1,780	349	174	—	5	112	3,080	15
	雜役	8	—	25	79	11	25	—	1	15	164	1
	計	666	696	2,799	11,714	2,453	1,823	86	323	693	21,253	100
	百分比	3	3	13	55	12	9	—	2	3	100	—
京 都	大工	3	15	125	840	28	15	—	—	9	1,035	51
	左官	3	19	36	304	19	2	1	—	3	387	19
	石工	2	8	56	78	8	1	—	—	5	158	8
都 市	土工	—	13	19	104	12	2	—	—	2	152	7
	寫手	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	雜役	—	13	27	247	20	4	—	—	4	315	15
	計	8	68	263	1,573	87	24	1	—	23	2,047	100
	百分比	—	3	13	77	5	1	—	—	1	100	—
神 戸	大工	16	27	11	426	27	42	—	—	5	554	28
	左官	5	—	15	352	23	22	—	1	7	425	22
	石工	8	2	6	120	13	11	—	—	5	165	8
戸 市	土工	2	76	14	144	17	70	—	—	7	330	17
	寫手	—	19	—	25	3	51	—	—	1	99	5
	雜役	2	—	1	177	20	82	—	—	6	288	15
	計	33	125	49	1,318	110	291	—	—	40	1,967	100
	百分比	2	6	2	67	6	15	—	—	2	100	—
合 計	大工	279	122	1,417	6,092	791	681	4	28	240	9,654	38
	左官	80	39	486	2,066	260	191	2	5	64	3,193	13
	石工	32	37	235	1,405	191	122	—	3	44	2,069	8
	土工	251	560	295	1,988	764	755	42	137	231	5,023	20
	寫手	46	77	556	1,805	352	225	—	5	113	3,179	13
	雜役	10	13	53	503	51	111	—	1	25	767	3
	計	707	899	3,111	14,605	2,650	2,138	87	324	756	25,267	100
	百分比	3	4	12	58	11	8	—	1	3	100	—

第四表 本人・現職業別

都市別	扶養家族有無別 職業別	扶養家族無	扶養家族有					計
			一人	二人	三人	四人	五人	
東京市	大工	1,757	746	1,320	1,358	1,185	901	
	左官	441	238	422	419	353	277	
	石工	284	166	353	325	257	200	
	土工	2,361	340	500	506	376	264	
	寫手	547	368	626	547	429	291	
	雜役	50	20	24	28	17	14	
	計	437	115	196	207	163	106	
	計	5,877	1,993	3,441	3,390	2,780	2,053	
	百分比	29	.9	16	16	13	10	
京都市	大工	66	94	199	209	185	151	
	左官	36	35	65	74	73	47	
	石工	19	15	32	33	18	21	
	土工	32	16	29	17	27	15	
	寫手	—	—	—	—	—	—	
	雜役	28	36	80	59	56	25	
	計	—	—	—	—	—	—	
	計	181	198	405	392	359	259	
	百分比	9	10	20	19	18	13	
神戸市	大工	100	51	98	91	90	65	
	左官	46	49	86	95	65	41	
	石工	34	23	30	25	25	16	
	土工	161	18	34	33	26	29	
	寫手	71	6	9	3	3	3	
	雜役	104	37	41	40	18	27	
	計	18	17	18	25	16	4	
	計	534	201	316	312	243	185	
	百分比	27	10	16	16	12	10	
合計	大工	1,923	891	1,617	1,658	1,460	1,117	
	左官	523	322	573	588	491	365	
	石工	337	204	415	383	300	237	
	土工	2,554	374	563	556	429	308	
	寫手	618	374	635	550	432	294	
	雜役	182	93	145	127	91	66	
	計	455	132	214	232	179	110	
	計	6,592	2,390	4,162	4,094	3,382	2,497	
	百分比	26	9	17	16	14	10	
	扶養家族有無別 百分比	—	12.8	22.4	21.9	18.0	13.4	

扶養家族有無別・員數

有	扶養家族有						小計	計
	六人	七人	八人	九人	十人	十一人以上		
363	253	124	41	12	5	6,308	8,065	
118	52	34	15	8	4	1,940	2,381	
88	47	17	6	2	1	1,462	1,746	
105	55	18	10	4	2	2,180	4,541	
121	80	44	15	7	5	2,533	3,080	
2	3	4	1	—	1	114	164	
28	15	6	2	1	—	839	1,276	
825	505	247	90	34	18	15,376	21,753	
4	2	1	—	—	—	71	100	
78	35	11	5	2	—	969	1,035	
29	19	5	2	1	—	351	387	
16	2	2	—	—	—	139	158	
9	6	—	1	—	—	120	152	
—	—	—	—	—	—	—	—	
16	9	5	1	—	—	287	315	
—	—	—	—	—	—	—	—	
148	71	23	9	3	1	1,866	2,047	
7	3	1	—	—	—	91	100	
41	12	5	1	—	—	454	554	
30	8	4	—	—	1	379	425	
7	3	1	1	—	—	131	165	
21	4	3	1	—	—	169	330	
2	1	1	—	—	—	28	99	
17	4	—	—	—	—	184	288	
3	3	1	1	—	—	88	106	
121	35	15	4	—	1	1,433	1,967	
6	2	1	—	—	—	73	100	
482	300	140	47	14	5	7,731	9,654	
177	79	43	17	9	6	2,670	3,193	
111	52	20	7	2	1	1,732	2,069	
135	65	21	12	4	2	2,469	5,023	
123	81	45	15	7	5	2,561	3,179	
35	16	9	2	—	1	585	767	
31	18	7	3	1	—	927	1,382	
1,094	611	285	103	37	20	18,675	25,267	
4	2	1	1	—	—	74	100	
5.8	3.2	1.5	0.5	0.2	0.1	100	—	